

令和4年度『新体力テスト』の分析結果【南会津】

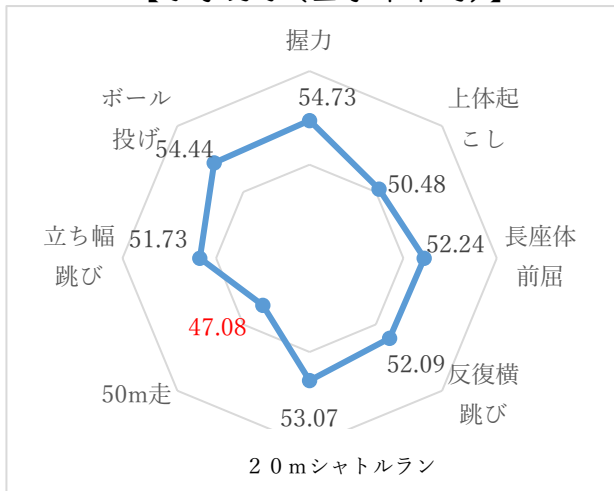
今年度の新体力テストの結果は以下のようになりました。今年度も、南会津は全国平均及び県平均を大きく上回る結果が出ています。特に、小学5年女子は、全国平均を約5ポイント、中学2年女子は全国平均を約6ポイントも上回りました。コロナ禍での運動制限や運動の機会の減少が影響しており、まだコロナ前(R元)の合計を下回る部分も見られますが、各学校で継続して行っている創意工夫ある活動によって、子供たちの体力向上が図られています。

【令和4年度体力・運動能力調査結果 体力合計点】

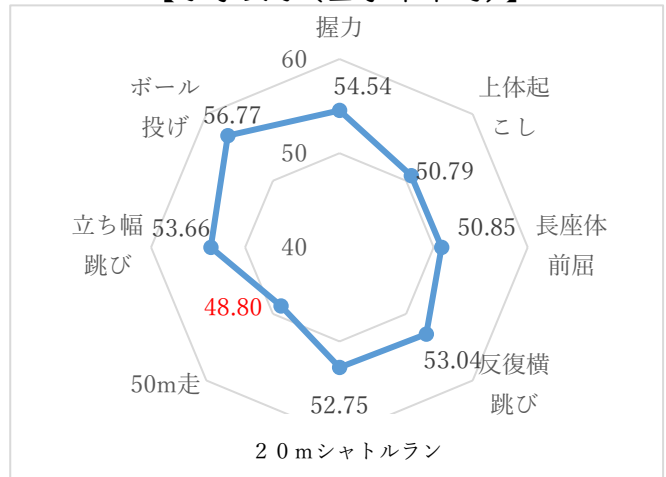
	小学5年男子	小学5年女子	中学2年男子	中学2年女子
R4南会津	56.62	59.54	43.34	53.43
(R3南会津)	(57.57)	(62.57)	(46.35)	(52.52)
(R元南会津)	(58.98)	(57.29)	(46.51)	(57.17)
R4県	52.08	55.22	41.07	47.26
R4全国	52.29	54.32	40.90	47.28

小学男子・女子、中学男子・女子の新体力テストの結果【南会津】

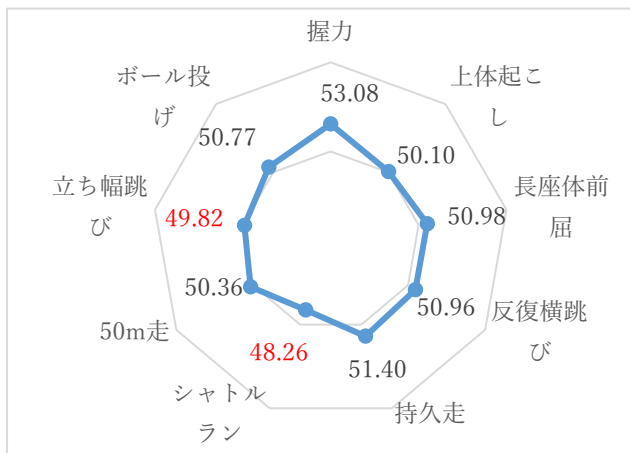
【小学男子(全学年平均)】



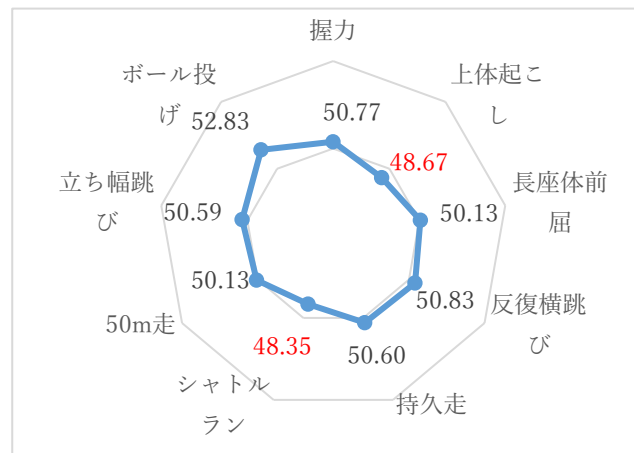
【小学女子(全学年平均)】



【中学男子(全学年平均)】



【中学女子(全学年平均)】



域内全体で見ると、小学校男女では「50m走」に中学校男女では「シャトルラン(5校実施)」に課題が見られました。体育の授業やその他の活動の時間などで、全力疾走を行う場面や、ある程度長い距離を走る場面などを意図的に設けることが大切です。昨年度の課題であった「上体起こし」は各学校での意識した取組により、向上が見られました。

次ページの令和5年度「体力向上推進計画書」作成に向けても参考にしてください。

令和5年度「体力向上推進計画書」作成に向けて

次年度の体力向上推進計画書作成の時期を迎えました。今年度の新体カテストの結果分析や実践の反省をもとに、次年度の具体的な取組を検討してください。次に紹介する内容は、R4年度の域内の小・中学校の取組の一部です。南会津のよさを生かした取組や、ICTの活用、各学校の創意工夫をこらした取組などが多く見られました。

R4 体力向上推進計画より～体育の授業での取組～

- ◇運動身体づくりプログラムの各学年完全実施と自校化
- ◇実態に応じて弱点となっている部分の運動時間・運動量の確保
- ◇クロスカントリースキー教室の実施
- ◇学習カードの活用
- ◇ICT 機器の積極的な活用
- ◇全力走の導入
- ◇自分の伸びが分かる授業の実践



R4 体力向上推進計画より～体育授業以外の体育的活動に対する取組～

- ◇鉄棒・なわとび・持久走など体育委員会による業間・昼休みなどを活用した呼びかけ
- ◇業間時の走る活動の実践
- ◇体力づくりコーナーの設置と活用
- ◇なわとびコンテストへの参加
- ◇雪遊び・クロスカントリースキーの実施
- ◇ふくしまっ子児童期運動指針の活用
- ◇チャレンジ600の実施
- ◇教職員も一緒に外遊びの励行
- ◇部活動への参加
- ◇特設部活動への参加

令和4年度「なわとびコンテスト」への参加、ありがとうございました！

12月1日～1月31日にかけて、福島県教育委員会主催「みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト」が実施されました。南会津の参加率は例年とても高く、今年度も小学校10校の参加がありました。冬場の体力向上に効果があったり、記録をみんなで協力して伸ばしていく過程は学級や学年づくりにつながったり、とてもよい活動になったようです。域内で特色ある取組を行った学校をいくつか紹介します。



江川小【見事全学年が10位以内入賞！】

今年度は、なわとびコンテスト3位以内を目標に、業間の時間を使って、全校生で参加しました。期間中は、どの学年も一生懸命に取り組むことができました。記録を見える化することで意欲が高まりました。現在は、個人種目として持久とびに挑戦中です。



明和小【見える化でやる気アップ！】

朝の時間を活用し、全校生で参加しました。各学級で目標を設定し、コンテストの期間中は、学級新記録を出したり、順位に変動があったりした時には、なわとびコンテストのグラフや順位表を廊下に掲示するなどして取り組みました。見える化することで、他の学年の子どもたちのやる気もアップし、回数を競うように真剣に跳ぶ姿が増えました。



伊南小【主体的な取り組み方が伝統に！】

全校生で参加しました。長なわとびに挑戦する伝統が根付いています。高学年の子供たちは主体的に取り組んでおり、自分たちで良い点や修正点について話し合いをします。上学年の姿を見て、中学年でも自分たちで話し合っ取り組む姿が見られました。下学年は先生方と一緒に長なわとびの練習をしました。



旭田小【ペアとびで入賞多数！体力も友情もアップ！】

体育の授業や休み時間に実施し、学習カードに記録したり、タブレットからウェブサイトアクセスして記録を確認したりしながら意欲的に取り組みました。一人で跳ぶよりもペアで跳ぶ方が楽しく取り組みます。友達とタイミングを合わせて跳ぼうとする時、かけ声が自然と出て、なわとびが苦手な子どももリズムよく跳ぶ姿が見られました。

